

# アイヌ語地名リストの読み方

\* [本ページは、リストの読み方を簡便に紹介したものです。詳しくは冒頭の「本リストを利用するために」をお読みください。]

現在公式に使われている名称を記載。  
漢字表記にはフリガナを付記。  
所在市町村名を( )で記載。

原則的に原典に基づき記載。  
出典欄の 補足説明者 の解説は  
で、当会議の解説は { }  
で記載。

原典の趣旨を損なわない範囲で、平易な  
表現で簡潔に記載。  
出典欄の 補足説明者 の解説は  
で、当会議の解説は { } で記載。

山田秀三著「北海道の地名」に出て  
くる解釈の原典著者名等を記載。  
解釈に対し文献中に補足説明等がある  
場合は、補作説明者を で記  
載。

左欄の名称が冠されている地名区分を記載。

現在の地名 (所在地)	区 分	アイヌ語地名		アイヌ語の意味	解 釈 及 び 由 来	出 典	備 考	
		カ ナ 表 記	ロ ー マ 字 表 記				備 考	コ メ ン ト
ト 口 太 槽 (北槽山町)	地区 川 山岳 峠	ピットロ *ピトロ	{pit-oro}	小石の有る {小石・の所}	ここには緋網などの重石とする小石などが沢山あつたため。	上 原	B	?
		ピットロベツ *ピトロベツ	pit-or-pet	石川 石・の所の・川	下流筋は全くの泥川で、網の重りに使うようなpit(小石)は中流以上でないで見当たらないようであった。なお太槽場所と呼ばれた地帯の運上屋はこの川筋でなく、川口より南の海岸にあったので、そこが太槽と呼ばれるようになった。	永 田 山 田		pit(小石)に関わる名と思われるが、現況はpitに関し特徴的な様子ではないらしい。 ?

ローマ字表記欄の各単語をアコロイタツ方式で記載。  
各単語を続けて読んだ場合に発音が変わる可能性が高いものは、その読み方を\*で併記。

右欄の「アイヌ語の意味」に合致するアイヌ語を  
単語毎に - で区切り、アコロイタツ方式で記載。  
出典欄の 補足説明者 のアイヌ語訳は で、  
当会議のアイヌ語訳 は { } で記載。

次の基準により判定の上、記載。  
  
A : 次の ~ の全ての条件を満たすもの。  
B : 少なくとも 及び の両方を満たすもの。  
C : A 及び B 以外のもの。  
  
音、意味、文法などアイヌ語として適切と思われる。  
地理的条件や事実関係等解釈に妥当性があると思われる。  
根拠となった場所や地形、事実等がほぼ確認できる。  
従来の諸説に照らし適切であり、また一定程度の定説となっていると思われる。

左欄のランク付けの理由など  
当会議の意見を記載。